

3年次 振り返り

【学生の振り返りのアンケート結果】 学生数：30名

4：とてもそう思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：まったくそう思わない

未：記入無

目標		4	3	2	1	未
1. 専門基礎知識・専門分野の知識を確実にし、統合分野の知識を身につける	①協同学習に能動的に取り組む	5	2 2	1	1	1
	②疾患数（4疾患）が適切である	9	1 7	3	0	1
	③模擬試験の実施が効果的である	1 0	1 7	2	1	0
	④模擬試験の見直しに能動的に取り組む	5	1 5	7	1	2
	⑤国試問題集の授業への活用	3	1 5	1 1	1	0
	⑥必修問題を繰り返し解き知識が身についた	1 2	1 6	2	0	0
	⑦脳ナビで知識が身につく	7	1 8	5	0	0
	⑧学習会で知識が身につく	1 1	1 5	3	0	1
2. 日常生活援助技術を身につける	①下級生との技術練習は効果的である	1	3	1 7	9	0
	②積極的に技術練習に取り組む	1	1 7	1 0	2	0
	③日常生活援助技術が身についた	2	2 4	4	0	0
	④看護過程の知識が身についた	5	2 0	5	0	0
3. リーダーシップ・メンバーシップが取れる能力を養う	①役割意識を持っている	4	2 3	3	0	0
	②時間を守ることができる	9	1 9	2	0	0
	③遅刻・欠席が2年次より少ない	1 7	9	2	2	0
	④授業中の私語はなく、聴く態度を取る	4	2 4	2	0	0
	⑤場に適した言葉を遣う	4	2 0	5	1	0
	⑥事前の連絡と相談ができる	1	2 5	4	0	0
4. 環境を整え、自己の目標や課題に取り組むことができる	①健康管理を行っている	1 2	1 7	0	1	0
	②教室の環境を整える	9	1 9	1	1	0
	③ポートフォリオに積極的に取り組み活かす	2	2 1	7	0	0

意見：必修問題をやっていくと、だんだん分かるという感覚がついた。

希望する疾患：呼吸器疾患、循環器疾患、胃がん、

【教員の振り返り】

1. 専門基礎知識・専門分野の知識を確実にし、統合分野の知識を身につける。

国試対策として、必修問題を解くことに主体的に取り組むことができていた。学生の振り返りからも、①から⑧のすべてのアンケート結果では主体的に取り組んだと言える。しかし、⑤の国家試験問題集の授業への活用については、関係する分野の問題を持参して授業を受けるように助

言を行っただけで、

どのように活用しているかを確認することができていなかった。授業と国家試験問題とを連動して活用することが今後の課題である。4年次の臨地実習では持参して活用するよう助言を行う。

2. 日常生活援助技術を身につける。

学生の振り返りでは、日常生活援助技術が身につくように技術練習に取り組んでいた。教員の思いとして、クラス内の友人同士の慣れた環境での技術練習ではなく、下級生とメンバーを組むことで他者に伝えることを学び、また同じ在校生として切磋琢磨して高め合うことができるのではないかと考え、下級生との技術練習を計画して実施した。

しかし、下級生との技術練習を効果的に思う学生は多くなかった。他者との関係性を作り上げていくことが課題であった。看護師はチーム医療の一員である。看護師を目指す学生にチーム医療の重要性を指導していきたい。

3. リーダーシップ・メンバーシップが取れる能力を養う。

様々な行事やクラス内での係の決定など、積極的に他者の意見を聞きながら行動することができていた。学生の振り返りからもリーダーシップやメンバーシップを発揮したとある。

教員の授業ではグループワークを取り入れることが多く、授業内でのグループワークも効果があったと考える。

4. 環境を整え、自己の目標や課題に取り組むことができる。

週番が役割を果たし、教室の環境を整えることができていた。清掃についても、終了時に教員に確認を行ってほしいという相談ができていた。

学生により差はあるものの、欠席は自己の体調不良である学生は目立っていなかった。体調報告や教室の環境報告も行えていた。

自己のビジョンとゴールを持ち、それに取り組む軌跡が見えるようポートフォリオを作成した。俯瞰を行い、能動的に学校生活や学習に取り組んでほしいと言う教員の願いがあったが、効果的に取り組む学生と指示で取り組んでいる学生とがいるように感じた。臨地実習にパフォーマンス評価を取り入れた学年である。今後も、自分自身のビジョンとゴールを持ち、何事にも主体的に取り組むことができるように支援していきたい。